

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/08/20～2017/08/31)

1. 勉学の状況

留学先の大学が始まるのは9月11日のWelcome weekからなので、それまでの三週間はミラノでイタリア語の語学学校に通うことにしています。語学学校では、イタリア語の授業を全てイタリア語で行い、かつ、授業中はイタリア語以外で喋るのは禁止で携帯や辞書でイタリア語を調べるのも禁止でした。それに加えて、私はみんなとは違い二週間遅れで授業に参加したので最初の数日間は地獄のようでした。しかし、恥を捨ててみんなの前で拙いイタリア語で質問し、帰ってからも予習や復習を繰り返す事で何とか授業についていき、クラス替えの試験に合格することができました。語学学校にはブラジル人、スウェーデン人、ドイツ人、台湾人、中国人と様々な文化を持った人が集まっているのでとても面白いです。イタリアで生活しているとイタリア語の重要性がひしひしと伝わってくるので、1日でも早くイタリア語を使えるようになれるよう頑張っています。

2. 生活の状況

ミラノマルペンサ空港に8月20日に到着し、そこからはバスとタクシーでシェアアパートの宿まで行きました。到着した日には大家さんのお母さんしかいなく、彼女はイタリア語しか喋れなかったため、翻訳アプリや身振り手振りで意思疎通を図るしかなく大変でした。しかし、近くにあるスーパーマーケットまで連れて行ってくれたり、語学学校の通い方を教えてくれたりと、初日でイタリア人の温かさに触れることができました。

語学学校の初日は学校までの詳しい行き方がわからなかったため、通行人にイタリア語で話しかけて道を聞きました。イタリア人はみんな笑顔で道を教えてくれ、どこから来たの？ミラノは好き？などと話を振ってくれてとても温かい気持ちになりました。イタリアは交通費が安く、ミラノ市内であったら片道200円程度のチケットでどこまでも行けます。チケットを使用してから90分はバス・トラム・メトロに乗り換えし放題でとても便利です。4000円弱で1ヶ月間ミラノ市内のバス・トラム・メトロ乗り放題の定期を購入することもできます。

私が滞在する宿はWi-Fi1日200MBまでという制限があったため、早めに海外SIMを手に入れてWi-Fiなしでも携帯を使用できるようにしました。SIMはイタリアで最も有名なTIMという会社のものにしました。

イタリアに留学する人の最初の難関である滞在許可証の申請なのですが、私は案外すんなり通りました。私が申請した時期はなぜかDuomo近くの大きな郵便局でしか滞在許可証を取り扱っていないと、そこで申請を行いました。申請書は語学学校の先生に手伝ってもらいながら書き、申請時にはとにかく笑顔で係りの人とやりとりすることを心がけました。イタリアで生き抜くためには笑顔でいることが何よりも重要なので。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/01～2017/09/30)

1. 勉学の状況

9月11日より大学が始まりました。初めの一週間は Welcome Week という留学生を歓迎するイベントが開かれるため授業はありません。その Welcome Week の期間中に学生登録や学内 Wi-Fi の使用方法の説明、キャンパスツアーなどが行われました。また、その期間中は留学生同士が交流できるようなイベントが毎日開催され、そこで友達を作って大学の情報共有などを行うことができました。私はあまり日本人の学生には頼りたくなかったため、違う国の学生との友達作りに励みました。Polimi にこれから留学する方は Welcome Week の各行事に積極的に参加することを強くお勧めします。

Welcome Week が終わると授業が始まります。私は Design Development Studio1 と Business Innovation という授業を取っています。Design Development Studio1 はプロダクトデザインとインタラクティブデザインの2つのクラスに分かれているのですが、私はそのことを初回の授業が終わるまで知りませんでした。なので、初回はプロダクトデザインのクラスを取っていたのですが、私はサービスデザインやインタラクティブデザインの方に強い興味があったため、Polimi の事務の方に直接メールをして変更してもらいました。本来、Polimi は一度授業登録をしてしまうと変更を受け付けていないのですが、理由をしっかりと説明したら変更してもらえました。そして、Business Innovation の授業を履修することが留学先を Polimi に決めた1つの大きな理由でしたので、しっかり集中して授業に挑んでいます。この Business Innovation のクラスでは主にイノベーションとは何か、どうやってデザインを用いてイノベーションを起こすのかを学んでいきます。その際に、デザインドリブンイノベーションという技術やユーザー寄りでのデザインを考えるだけでなく、全く新しい価値を加えることで今までにないインパクトのあるイノベーションを起こす方法を一緒に勉強していきます。こういったような授業は初めてで、日本では教わることができなかつたので初回の授業から聞いていてとても興味深く、この先が楽しみです。

Polimi は作業する施設が整っていて、プロトタイプなどを作成する際に多くの種類の機械や器具を使用することができます。しかし、この施設を使うためには試験を合格して施設にアクセスする際に必要なバッチを手に入れなければならないといけません。試験は二部構成になっていて、まず始めに Polimi のオンラインサービス上で試験を受けて合格点を取る必要があります。そのあとに、二時間ほどその施設内でルールの説明や機械の使い方を教わり、バッチを受け取って登録完了になります。施設が大きいので安全対策や施設管理がとてもしっかりしていると感じました。施設内のギャラリーには代々の先輩方が作成した作品が並んでいて、どれもクオリティが高く圧倒されました。これらの作品に負けないようなものを Polimi の大きな施設をうまく活用して作成

していきたいです。



通っているキャンパスの風景

2. 生活の状況

私は Polimi に来る前に三週間ほどミラノに前乗りしていたので大分生活には慣れてきました。ミラノでの外食は日本と比べるとほんの少し高くつきます。しかし、野菜やフルーツなどは日本と比べてすごく安いので自炊をすることで生活費を節約することができます。また、洋服なども日本と比べると少し安めなので、私は冬服や秋服はこっちで調達しました。ミラノは太陽が出ている日は暑いのですが、太陽が引込むと一気に寒くなるので早めの防寒対策が必要です。

イタリアでの生活の質を上げるためにはやはりイタリア語が必要なので、Polimi で行われる有料のイタリア語コース(100 ユーロほどかかる)を取ることに決めました。イタリア人はお話好きなのでイタリア語を喋れるといろんなことを教えてくれます。ただ美術館や観光地に行くだけではわからないようなことも、現地の人と話すことで文化や歴史なども織り交ぜて丁寧に説明してくれます。イタリア語を習得できれば、イタリアのことを奥深くまで知ることができるのでイタリア語の勉強にこれからも励みたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01～2017/10/31)

1. 勉学の状況

私はミラノ工科大学でデザインの授業を2つとイタリア語の授業を1つ履修しています。ミラノ工科大学はレオナルドキャンパスとボビザキャンパスという2つのキャンパスに分かれています。私が履修している授業は全てボビザキャンパスの方で行われています。

キャンパス内には至るところに机と椅子、コーヒーマシンがあるため、学生達はそこら中でコーヒー片手にミーティングを行なっています。頻りにカフェインを摂取しているせいか、こちらに来てからは授業中に居眠りしている生徒をまだ見たことがありません。私が履修している授業は2つともグループワークなので、私達もよくその机や椅子でグループワークを行なっています。

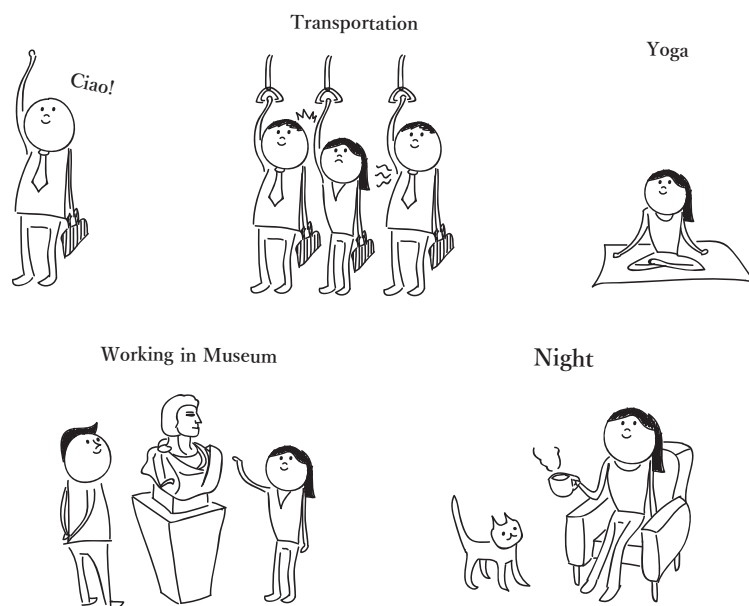
・ Business Innovation 火曜日 9:15~13:00

この授業はイノベーションに関する授業です。世の中で起こっているイノベーションを紐解いていくことでイノベーションを起こす方法を理解し、最終的には学生たちでイノベーションを提案するという内容です。1チーム約8人になるようグループ分けをして、それぞれのグループでイノベーションのターゲットとする市場を決めます。グループ分けは教授がするのではなく、学生間で勝手に話し合っ決めてくれという方針だったため、人見知り英語が得意でない私は不安でした。しかし、近くにいた留学生が声をかけてくれたおかげで何とかグループに入ることができ、ターゲットとする市場はカフェに決まりました。なので、私たちは今、カフェのイノベーションに成功したスターバックスの市場調査や分析を行っています。今週からは、スターバックス以外にも Nespresso や Moleskine Café などにも足を運び調査を進めていきます。

・ Product Development Design Studio 1 for Interaction 金曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

この授業は午前と午後の二部構成になっています。午前中はグループワークで、午後は3Dソフトや図面の書き方の授業になっています。

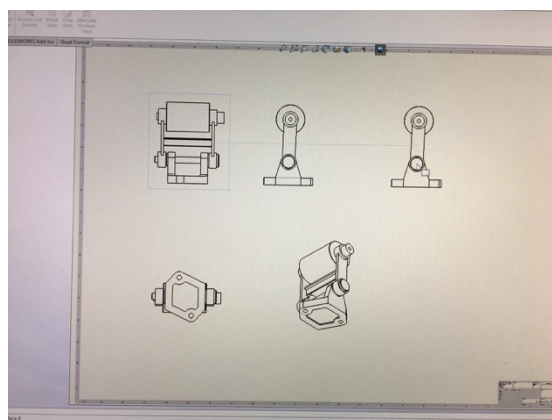
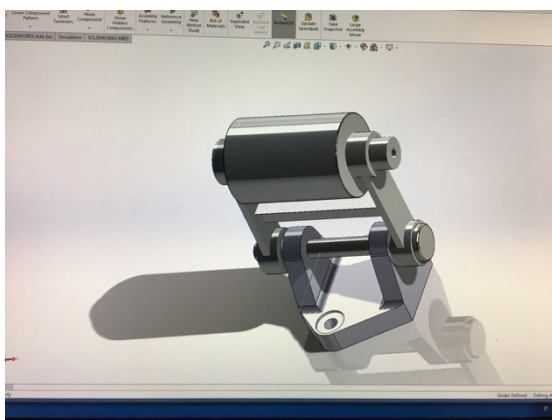
午前中の授業は11月上旬まではエクササイズの間で、下旬からはプロジェクトが始まります。エクササイズの間はグループごとに1つ家電製品を決めて、その家電製品をインタラクションの観点からデザインするという課題になっています。今、私たちのグループはアロマディフューザーについて考えています。この授業ではグループワークの進捗をプレゼン形式で発表していくため、毎週プレゼン資料を用意しなくてはならないので少し大変です。しかし、グループの人たちがいい人ばかりで毎回ミーティングは楽しく進んでいます。4人グループで2人がイタリア人なのですが、ミーティングの最中でも少しおしゃべりをしたり冗談を言い合ったりします。これがいい感じに場を和ませてくれるので、こういったミーティングの進め方もいいなと感じました。



プレゼンでユーザーシナリオのスケッチを任せられ描いたもの

午後の授業は Solidworks という 3D ソフトとアイソメ図などの書き方を教わる授業です。今までに 3D ソフトは使ったことがあったのですが、Solidworks を使うのは初めてであったためとても難しく、毎週苦戦していました。しかし、操作が難しい分、Solidworks では作成したモデル同士を組み合わせることや、モデルから図面を簡単に書き出すことができるなど、使いこなせば色々なことができます。

アイソメ図などの図面の書き方は千葉大学で 1 年生の頃に少し勉強したので授業についていけました。来週からは 3D ソフトから Unity というアニメーション制作ソフトの方に移るので今から楽しみにしています。



Solidworks の練習で作成した 3D モデル

・イタリア語の授業 月曜日/水曜日 18:00~20:00

この授業は留学生に対して開講されている授業なのですが、普通の授業とは違い単位は出ません。事前に Polimi のサイトで 100€を支払って、クラス分けテストを受けることで受講することができます。クラスは、初心者・基礎・中級の3つのレベルに分かれています。

私は Polimi に来る前にミラノで二週間ほどイタリア語の語学学校に通っていたため、クラス分けテストで基礎のコースに合格することができました。このコースにはスペインの学生が多くいるのですが、スペイン語とイタリア語は似ているらしく、皆スラスラとイタリア語を喋るためついていくのが大変です。

2. 生活の状況

私は今、ボビザキャンパス付近のシェアアパートに住んでいます。ミラノ工科大学の寮は競争率が高いため、初めから自分で住む場所を探しました。このアパートには多くの留学生が住んでいるので、英語の能力を上げるには適した場所だと考えています。朝起きてから夜寝るまで、英語に触れる機会がたくさんあるのでとても勉強になっています。これまで学校や TOEIC で英語を勉強してきましたが、実際に英語でコミュニケーションを取るとなると一気に難しさが上がるので苦労しています。

最近では、日本人以外と積極的に接するように心がけたためか、留学生から交流の誘いを受けることが多々あります。楽しい反面、英語がうまく話せないのが辛いのですが、フットワークを軽くして足を運んだ数だけ英語が伸びると信じて頑張っています。



留学生の人たちと COMO に行ったときの写真

・イタリアでの気づき

ミラノがファッションの街と言われる理由が少し分かってきました。

ミラノにきた最初の頃は、ファッションの街と言われているけど、男性はみんなTシャツに短パンか長ズボンで日本人の服装とあまり変わらなくない？とっていました。でも、イタリアの

街には美男美女が多くてみんなスタイルが良く、普通のTシャツとズボンだけでオシャレに見えてしまいます。日本の服屋にあるマネキンが街を歩いている感じです。ファッションの街と言ってもみんな体型がいいからよく見えるだけで、服のセンスがいいとかじゃないのかなと思っていました。

しかし、最近冬服を買うために服屋さんに入った時に、日本ではできないような体験をしました。日本の服屋の場合、店員さんは今のトレンドや人気な服、店舗のおすすめなど色々な服を勧めてきて、その中から自分が好きだと思ったものを選んで買うスタイルだと思います。でも、イタリアで入ったお店は、あなたに似合うのはこの服だよ！この服のこのサイズがあなたの体型にあっていて絶対にこれがいい！と店員さんが自信を持って勧めてきて、着方まで教えてくれました。

そのお店を出て街を歩いていると、みんなオシャレな人は自分のスタイルや雰囲気にあった服を着ていることに気がつきました。自分たちのスタイルの良さを存分に活かし切れている感じがです。日本にいるときは、それぞれトレンドを先取りしたやつや普通では売ってなさそうなちょっと外れたやつがオシャレなのかなと思っていました。でも、イタリアでは服を着こなせている人がオシャレな人という印象を強く受けました。



ミラノのガレリア

このガレリアには多くの高級ブランド店が立ち並び、オシャレなイタリア人がたくさん歩いています。イタリア人はおじさんでも服に気を使っているため、すごくオシャレでカッコいいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01～2017/11/30)

1. 勉学の状況

11月からは授業の後半に入ります。私が履修している授業は2つとも、授業の前半がエクササイズ、後半はそのエクササイズを活かして最終プレゼンに向けて準備をしていくという授業の流れになっています。POLIMIは授業の最終試験を受ける前に、webで試験を受ける日を登録する必要があります。これを忘れてしまうと試験が受けられなくなってしまいます。

Bovisaのキャンパスは近郊電鉄線のBovisa駅を挟んで2つのエリアに分かれています。そして、どちらにも大きな図書館と自習室があります。友達がPOLIMIの図書館で本をよく借りているのですが、品揃えが良くとても便利だと言っています。私は授業前や授業後に図書館や自習室に行って課題や授業の復習をしているのですが、本はまだ借りたことがないので今度借りてみようかと思っています。

・ Business Innovation 火曜日 9:15~13:00

授業の前半では、カフェのイノベーションを起こすアイデアを考えるため、主にカフェの市場調査や分析を行ってきました。これからは、その調査や分析を通してアイデアを考える段階に入ります。

この授業はグループワークで私のグループは8人いるのですが、あまりグループの雰囲気は良くありませんでした。1人、自己主張が激しく、あまり他人の意見を理解しようとしていない女の子がいて、ミーティングではその子と他のメンバーが口論になることが多々ありました。その結果、泣きそうになってしまう子や家に帰ってしまう子も出てきて、一部のメンバーは私たちがやっているのはミーティングではなくてファイティングだと言うほどでした。しかし先日、その女の子がまたグループメンバーの1人とメールで口論になり、この授業から抜けると言ってグループから去ってしまいました。それからは、グループの雰囲気は良くなり、ミーティングもスムーズに進むようになりました。このような経験は初めてで、今回はその女の子がグループから抜けることで解決しましたが、今度また同じようなことが起こったら話し合いや付き合いを通してグループの雰囲気の解決を図りたいです。

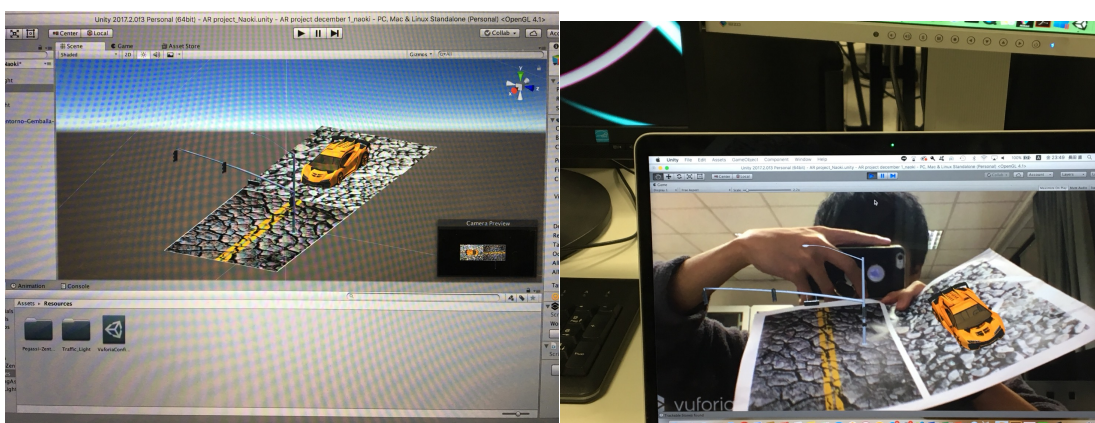
・ Product Development Design Studio 1 for Interaction 金曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

こちらの授業もエクササイズの期間は終わって、最終プロジェクトが始まりました。最終プロジェクトの課題は、家で使用する電化製品を1つ選んでインタラクションの観点からデザインをするというものです。最終プロジェクトも授業の前半に引き続きグループワークなのですが、チームを変えたいグループは変えても良いということでした。しかし、私のグループはチームワークが良く、関係性も良かったので、また同じメンバーで作業していくことに決めました。そして、

私たちはデザインする電化製品をスピーカーに決めました。ちなみに、私たち以外のグループは全てチームメンバーを変更していました。

しかし、授業の後半になってから、グループメンバーのデザインの価値観や考え方の違いが浮き彫りになってきました。グループメンバーは4人とも、今まで勉強してきたデザイン分野や環境が異なるためにこのようなことが起こったのだと思います。そのため、みんなの意見をまとめるのが大変で、ミーティングも難航しています。いろんな方の価値観や考え方を知ることができるのはとても面白いのですが、一緒に1つのものを作るとなると結構大変なのだと感じています。途中経過の発表では先生からの評価が良かったので、満足できるようなスピーカーを提案できるよう頑張りたいと思います。

午後の授業ではUnityという3Dアニメーションソフトの講習を受けています。このソフトでは、作成した3Dモデルを使用してアニメーションを作ることができます。最近の授業ではARと連携することで、作成した3Dモデルを現実世界に映し出す方法を学びました。



Unityの練習で使用したARモデル

- ・イタリア語の授業 月曜日/水曜日 18:00~20:00

この授業は事前にPOLIMIのサイトで100€を支払って、クラス分けテストを受けることで受講することができます。

イタリア語の文法や単語を、実際に使うシチュエーションを交えながら教えてくれます。今は、未来形や受動態などを習っています。イタリア語は英語と似ている部分もあるのですが、構造が少し異なるため難しいです。先生はもちろんイタリア人なのですが、イタリアの先生や教授はとても優しく、生徒が質問などをすると全てに丁寧に答えてくれます。

2. 生活の状況

11月に入ってから一気に気温が下がり寒くなってきました。ミラノは、夏は湿気が少なく、冬は湿気が多くて霧が出たりします。ヨーロッパの人たちは外の空気が好きで、冬でも外でお酒を飲んだり、家では窓を全開にして換気をしたりします。そのため、厚手の冬着を持っていないとその流れについていけないです。私は冬着を日本から持ってきていなかったのがこっちで購入しました。イタリアは日本とあまり物価は変わらないのですが、こっちはセールをしている日が多いため、服を安く購入できる機会がたくさんあります。

最近、授業のグループメンバーやシェアルームのメンバーと互いの国の文化や歴史について話すことが多くなってきました。日本人と比べると、ヨーロッパの人々は自国愛が強く、自分の国に対する理想もしっかり持っています。そのため、話を聞くのはとても興味深く、勉強になります。逆に日本の話をしただけで文化や習慣の違いにみんな驚愕します。政治や文化の話となると、英語の単語が難しく聞き取れない部分が多々あります。そのため、携帯でニュースを英語で読んだり、海外のドラマを見たりして英語の勉強を必死にしています。英語が話せるようになれば、入ってくる情報が今の倍になり、人の輪も今の倍に広がるのではないかと信じて頑張っています。

先日、トリノに1人で行って来ました。トリノは昔、イタリアの王様が住んでいた街で、その名残が今でも色濃く残っています。そのため、建物や風景がとても上品で綺麗でした。トリノの道は全ての通りに屋根がついているのですが、これは昔、散歩好きな女王様が雨の日でも城下町を散歩できるように設計されたと言われていました。イタリアのレディーファーストの歴史を肌で感じる事ができました。



トリノに日帰りで一人旅に行った時の写真
(左の写真は王様が昔暮らしていたヴェナリア宮殿)

・イタリアでの気づき

イタリア人の優しさと日本人の優しさは種類が違うと思います。

イタリア人の優しさは“表”で日本人の優しさは“裏”みたいな感じです。イタリア人は人前での優しさ、目に見える優しさが上手いと思います。目の前で困っている人がいたらすぐさま手を差し出したり、声をかけてあげたりします。例えば、ベビーカーをバスから降ろそうとする女性がいるとすぐさま手を貸し、誰かが財布を落とすとすぐさま落としたよと教えてあげたりします。イタリア人の尊敬できる点です。

それに対して、日本人は優しさを人前ではあまり発揮しません。優しさを拒否されるのが怖いから、人前で優しさを見せるのは恥ずかしいから、人の注目を浴びるのは避けたいからなどの理由で。しかし、日本人はみんなが見ていないところでの優しさや気遣いに長けていると思います。多分、イタリア人はいい意味であまり深く考えないからすぐに優しさを行動に移せるのだと思います。逆に、日本人は深く考えすぎてすぐに行動には移せないけど、深く考える分相手に気を使えることができ、みんなが見ていないところまでも優しさが行き届くのだと思います。

日本人の優しさも好きなのですが、イタリア人のように日本人も人前で優しさをすぐに発揮できるようにになれば、もうちょっと生活が豊かになるのではないかなと思います。特に満員電車の中など。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01～2017/12/31)

1. 勉学の状況

POLIMI は 12 月で第 1 セメスターのすべての授業が終わります。そして、年末年始休みを挟んで 1 月、2 月に最終プレゼンや最終試験があります。

POLIMI の校舎の中にはたまに POLIMI の学生の作品が並んでいます。おそらく授業の最終プレゼンで使用し終わったものを展示していると思うのですが、どれもクオリティーが高く、自分が専攻していない分野の人たちの作品を見るのも面白いと感じました。最近では、大型客船の内装のデザインを考えたものが大きなボードを使って展示しており、理解するのが少し難しかったです。スケールの大きさに驚かされました。

・ Business Innovation 火曜日 9:15~13:00

この授業は最終プレゼンが 12 月中にあったので、そのプレゼンに向けてみんなで準備をしていきました。この授業はそれぞれのグループがターゲットとする分野に対し、新しい価値を加えることでイノベーションを起こす方法を考えるものです。今までその分野の中でどのような店舗が生き残ってきたのか、今までの時代の流れの中にどのようなトレンドがあったのか、消費者は何を求めているのか、などのリサーチや分析がメインで、実際にサービスやプロダクトを考える時間は少ししかありませんでした。そのため、大急ぎでアイデア出しをしてなんとか最終プレゼンまでに間に合わせることができました。

最終プレゼンは各グループの持ち時間が 10 分でプレゼン方法は自由でした。そのため、劇をする班や 1 人で 10 分話す班などもありました。私たちのグループは 2 人で分担してプレゼンすることに決まり、私がおうちの 1 人として話すことになりました。プレゼンはもちろん英語なので、失敗しないように前日からしっかりと準備をして挑みました。今までの私たちが行ってきたことの集大成でもあったため、ここはどのような英語を使えば伝わりやすいか、英語を話すのが苦手な私でもどうしたらみんなにちゃんと伝えることができるかなど、自分なりに色々試行錯誤しながらプレゼンの原稿を考えました。そして、無事に最終プレゼンを終えることができ、グループの人からもプレゼン上手かったよと褒めてもらったのでほっとしました。

最終プレゼンは終わったのですが、一月中旬に口頭試問があるのでそれに向けて勉強しています。また、個人的にこの授業はとても面白く、興味があったので、教授が授業中に紹介してくれた本(図 1)を自分で買って今読んでいます。英語なので読むのは大変なのですが、内容がとても興味深く、英語の勉強とデザインの勉強どっちもできるのでコツコツと読み進めています。第 2 セメスターではこの本の著者であるロベルト・ベルガンティ教授の授業を取る予定です。

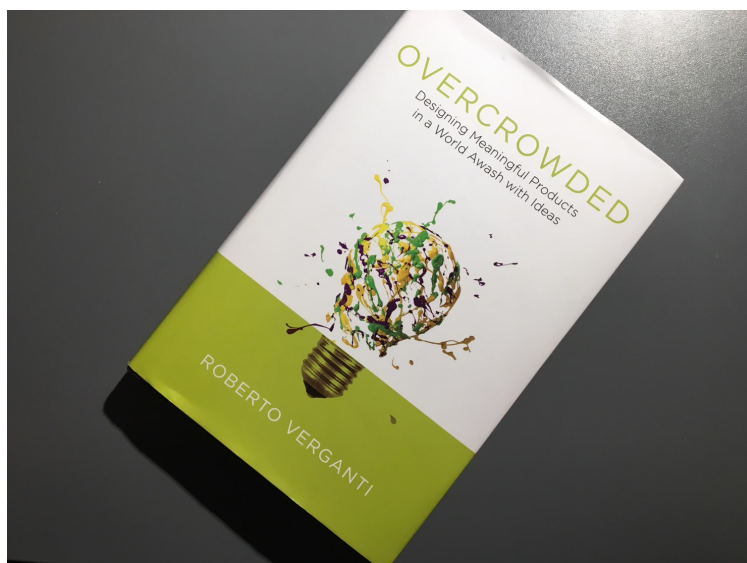


図1：ロベルト・ベルガンティ教授の本

・ Product Development Design Studio 1 for Interaction 金曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

こちらの授業は最終プレゼンが1月中旬なので、今それに向けて準備中です。私たちは、オーケストラの指揮者のように音楽をジェスチャーでコントロールできるスピーカーを考えています。技術面は、私の班にエンジニア専攻の人がいてくれたおかげで、実際にリモコンにモーションセンサーや角度センサー、重心センサーを内蔵させることでジェスチャーによってスピーカーをコントロールすることが可能になりました。しかし、まだリモートコントローラーとスピーカーの形、素材が決まっていなく、みんなでアイデアを出し合っている段階です。

教授の方々はスピーカーのアイデア自体は面白いと言ってくれたのですが、やはりまだ、ディテールの詰めが甘いということでしたので、最終プレゼンまでにはしっかり提案できるようにディテールを詰めていき、提案に穴がないようにしたいです。

・ イタリア語の授業 月曜日/水曜日 18:00~20:00

イタリア語の授業は単位が出ないので最終試験やテストはありませんでした。12月はイタリア語の文法や単語の授業は終わり、イタリア人が使うジェスチャーやイタリア語の映画を見るなどしてイタリア語とともにイタリアの文化を学んでいくという授業でした。授業は日本人の私にとっては結構難しかったです。イタリア語を学ぶ機会は今から先少ないと思うので良い経験でした。この授業で学んだイタリア語を使って、これからもイタリアで生き延びていきたいです。

2. 生活の状況

12月になるとミラノもクリスマスや年越しに向けて町中がお祝いムードになります。クリスマス近くになると、ミラノの中心地ではクリスマスマーケットが開かれ、クリスマスツリーの装飾やスノードーム、ぬいぐるみなどを売っています。イタリア人の友達がクリスマスパーティに招待してくれて、イタリアのクリスマスを体感することができました。イタリア人は陽気でおしゃべり好きなので、パーティもすごく賑やかで面白かったです。

年末年始は友達とローマに行きました。ローマは古代の建造物が今でもたくさん残っていて、イタリアの歴史の深さに感動しました。ミラノと同様、ローマの建造物も細部まで作り込まれているのでとても幻想的で見とれました。ローマの古代の建造物は規模が大きく、ミラノの建造物よりもスケールがでかいものが多く、見ていて圧倒されました。

また、イタリアに来たら絶対に見に行きたいと思っていたオペラをローマで見てきました。オペラ座に入るにはしっかりとした格好でないといけないので、ローマでジャケットを買って、オペラを見るのにふさわしい格好で行きました。年末年始の期間では、オペラ座ではバレエしかやっていなかったのがバレエのくるみ割り人形を観てきました。バレエを見るのは初めてで、知識もあまりなかったため楽しみ方がいまいち分からなく難しかったです。しかし、演者のスキルはバレエ発祥の地なだけあってとても高く感動しました。

ローマを観光している間にピノキオ専門店を発見し、少し面白そうなので入ってみました。すると、お店の中には木製のピノキオがいたるところに並び、そのピノキオたちをオレンジ色の暖かい光が包み込んでいて、まるでおもちゃ箱の中に入ったようでとても心を揺さぶられました(図2)。あとで調べてみると、イタリアはピノキオ物語の発祥の地で、このピノキオ専門店は実際にイタリアの職人さんが手作りでピノキオを作っていることがわかりました。手作りのピノキオたちは皆表情が違い、とても可愛らしかったため珍しく衝動買いをしてしまいました。お店の雰囲気も商品もとても良く、お店の中に入ってここまで心が揺さぶられたことがなかったので、これからデザインをしていく中で何かヒントになるのではないかと感じました。

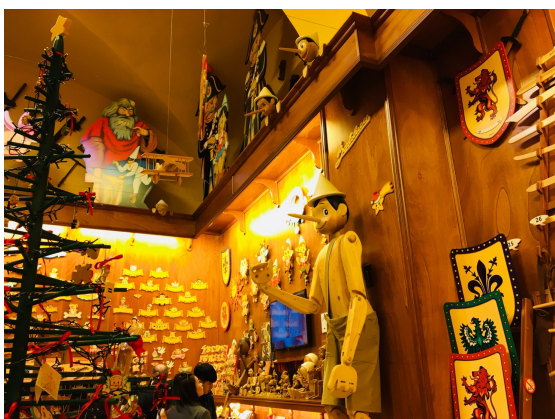


図2：ピノキオ専門店

- ・イタリアでの気づき

イタリアはなぜヨーロッパの中でも観光地として大人気なのか。

理由は、イタリア国内を旅行するだけでも何カ国も観光した気になれるからです。昔、イタリアが統一される前はいくつもの都市国家が今のイタリア国内に存在していました。まるで昔の日本のように。しかし、日本とは違い今でもその名残が色濃く残っているため、各地方で全く違った雰囲気味わうことができるのです。日本でも昔の建造物や文化が残っている地域はありますが、イタリアと比べてしまうとやはり少ないです。

例えば、

- ・ヴェネツィア：ヴェネツィア共和国の首都として栄えた都市で、「アドリア海の女王」「水の都」と呼ばれる。何世紀もの間、市内の輸送を担ったゴンドラが有名で、今は観光に利用されている。

- ・フィレンツェ：昔、ミラノと戦争をしていた。「花の都」と呼ばれ、街並み自体が世界遺産に登録されている。

- ・ローマ：イタリアの歴史が詰まっている街。「永遠の都」と呼ばれ、中心には世界最小の国であるバチカン市国がある。

- ・ナポリ：昔はスペイン領だったため、今でもスペインの雰囲気や文化を体験することができる。イタリアの中で一番ピザが美味しい場所。

- ・ポンペイ：火山噴火により、街が壊滅し埋もれた都市。街中には人の石像みたいなものが多く残っているが、これは火山噴火による火山灰を浴びた人々がそのまま残っているものである。つまり、石像の中には昔の人々が入っている。

まだあまりイタリアのいろんな場所に行けていないので、これから足を運ぼうかと思っています。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/1/01～2018/1/31)

1. 勉学の状況

POLIMIの第1セメスターは1月と2月にある試験期間で各自のクラスの試験が終わり次第終了となります。私が履修していた授業は1月に試験があったため、2月は休みの期間になります。そして、3月から第2セメスターが始まります。その第2セメスターが始まる前に自分が履修したい授業をメールで提出します。各授業には定員があるため、自分が履修したい授業から溢れてしまうこともあります。しかし、授業の定員は早いもの順で決まってしまうので、早めにメールで自分の希望を提出すれば定員から溢れることはありません。私は履修したい授業があったため、早めにメールを提出して無事希望を通すことができました。

・ Product Development Design Studio 1 for Interaction 金曜日 9:15~13:00

1月19日に最終プレゼンがありました。最終プレゼンではプレゼンテーションの中に、提案するプロダクトを授業で教わったUnityというソフトを使って説明する動画と、プロダクトの図面を載せることが必須でした。私たちの班はコンセプトやプロダクトの操作方法などは評価されたのですが、やはり最後までプロダクトの形について突っ込まれてしまいました。最終評価では、教授は提案物のコンセプトよりもプロダクトの形や提案物の見せ方に重きを置いていて、私たちの提案はそこが足りなかったため少し悔しい結果となってしまいました。第二セメスターでもこの授業を履修する予定なので、今期の授業の反省を踏まえ、より良いプロダクトを提案できるよう頑張りたいです。

<第1セメスターの授業の総括>

Polimiの第1セメスターの授業は私には新鮮で興味深いものも多く楽しかったです。しかし、やはりまだ自分には英語力が足りないなと痛感しました。私が履修していた授業では日本人は私しかなく、ほとんどがヨーロッパの学生たちで、もちろん彼らは英語を難なく使いこなします。私も最近では、英語でシェアアパートの留学生たちと会話したり、友達とおしゃべりしたりということは普通にできるようになってきたのですが、授業で教授が話す英語やミーティングでの会話となると英語のせいについていけなくなるが多々ありました。そのために、自分の力が十分に発揮できなかったり、相手の言っていることを理解することができなかったりと不完全燃焼で終わってしまいました。このままPolimiの授業を十分に吸収できずに帰国するのは絶対に避けたいので、第2セメスターの授業は3月からまだ1ヶ月休みがあるため、その間で今以上に英語の勉強に力を入れていきます。また、第1セメスターの授業で紹介してもらったベルガンティ教授の本がまだ読み終わってなく、第2セメスターでは彼の授業を履修する予定なのでそ

れまでに読み切りたいと思います。そして、周りの生徒よりも少しアドバンテージを持った状態で彼の授業に挑むことができるよう頑張ります。

2. 生活の状況

1月になってもまだミラノには大きなクリスマスツリーが飾られています。イタリアはお祝いの始まりの時期には敏感で街の雰囲気が一気に変わるのですが、そのお祝いごとが終わっても撤退しないで飾りなどがまだちらほら残っているところがあります。イタリアはお国柄少しのんびりしているところがあるのでそのせいかもしれません。

ミラノはこの時期になると霧がよく発生します。日本とは違いミラノの冬は湿気が多く、濃い霧のせいで先の道が全く見えないなんてこともよくあります。特に車道とかになると、遠くからこちらに向かってくる車が霧のせいで見えないこともあるのでより一層気をつけて生活したいと思います。



図1：霧がかかったスフォルツェスコ城

最近は、せっかくミラノにいるので家でダラダラしていたらもったいないと思い、休みの日になると予定がなくても外に出るようにしています。そして、行き当たりばったりでピザ屋さんに入ったりよくわからないお店に入ったりして、授業で習ったイタリア語を駆使して注文をしています。そのため、美味しいピザ屋や勉強するのにぴったりのカフェを発見することができ、ミラノで自分の行きつけのお店ができたなと少し浮かれています。



図2：行きつけのピザ屋さん（イタリアでは水は有料です。）

ミラノで生活しているとやはりイタリア紳士の優しさの早さに驚かされます。人が財布を落とすとすぐに落としたよ！と教えてあげたり、椅子にかかっている上着が床に落ちそうになっているとなおしてあげたり。つい先日、散歩しているときに私がポケットからハンカチを落としてしまっただけなのに気づかず歩こうとしていると、前から来たバスがクラクションを鳴らして運転手がジェスチャーで落としたよと教えてくれてびっくりしました。イタリア人のこの優しさはやっぱりすごいなと改めて感じました。

・イタリアでの気づき

なぜイタリア人はプレゼンテーションが上手なのか。

日本人はプレゼンテーションに苦手意識を持つ人が多いです。あまり大勢の人の前で話すのに慣れていなく、プレゼン前になるとすごく緊張したり、普段のように喋れなくなったり。それに対し、イタリア人は大勢の人の前でも堂々と喋り、自分の意見を自信を持って発言します。プレゼンテーションに限らずミーティングをしている最中も。イタリア人のそういう姿を見てみると“恥ずかしい、恥じらい、恥”などの感情があまりないように感じます。そのため、プレゼンの前に緊張したりすることなく、また、教授にもしっかりと自分たちの意見を言います。

Polimiのクラスでは、最終プレゼンが終わり、教授が総評を言い終わると今度は学生が教授に対して意見を言う時間がありました。その時も、生徒の何人かが手を挙げて、授業をもっとこう進めたほうが良かったのではないかと、あの授業にはどういった意味があったのかなどを教授たちに質問していました。

イタリア人の友達になぜそんなに堂々と自分の意見を大勢の人の前で言えるのかと聞いたら、私の学校ではプレゼンの練習専用の授業があったとっていました。その授業では発声の練習や大勢の人の前で話す練習を行い、毎授業100人ほどいる学生たちの前でプレゼンを行っていたらしく、その授業のおかげで今では全く緊張することなく大勢の前で話すことができるようになりました。私は、イタリア人が堂々と自分の意見を言えるのは育ってきた環境のおかげなのかなと思っていたのですが、イタリア人も裏で努力したから今ここまで自信を持って話すことができるのだなと感心しました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/2/01～2018/2/28)

1、勉学の状況

第2セメスターは2月の終わりから始まります。私は3つの授業を履修する予定だったのですが、1つは聴講という形で授業に参加することになりそうです。というのも、履修登録した授業の時間割が突如変更になり、他の授業と時間が被ってしまうという事態が起きたのです。かつ、授業を担当するはずだった教授が勝手に他の教授に変えられていたのです。こういう適当なところはイタリアの悪いところだなと思います。でも、イタリアに住んでいるとこういったことが頻繁に起きるので、落ち着いて対処ができるようになります。

・ DESIGN DEVELOPMENT STUDIO 2 月曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

この授業は第1セメスターで履修した DESIGN DEVELOPMENT STUDIO 1 と授業の形式は同じで、午前中はグループワーク、午後はデザインツールの学習になります。

午前のグループワークのテーマは、スポーツを VR 技術を使って進化させるという課題です。VR を用いることでスポーツのパフォーマンスを向上させたり、新しいトレーニング方法を考案したりというものになります。今回は VR グラスを考えるのではなく、VR グラスと一緒に用いるツールを考えていくことになります。つまり、テニスだったらラケット、野球だったらバットなどのスポーツに用いる道具を VR グラスと一緒に使う場合、どういった機能や形が適しているのかをデザインしていきます。初回の授業ではグループ分けをして、各グループどのスポーツをターゲットにするのかを決めました。私たちのグループはフェンシングを題材にすることに決めました。理由は、フェンシングは対面で戦う競技なので VR を用いてオンライン対戦などができたら面白いのではないかと、初心者がフェンシングを1から始めるのは難しいので VR で疑似体験できたらもっとフェンシングを始めやすくなるのではないかと、昔から伝わる伝統的なオリンピックスポーツの1つなのに知名度があまり高くないのもっとみんなに知ってもらいたい、などです。今は次週の授業に向けて市場調査やユーザーのインタビューの時に使うアンケートを作成しています。

午後は Autodesk の Inventor というモデリングソフトを使った授業になります。しかし、Inventor は Windows 用のソフトなので Mac ではインストールできません。第1セメスターの授業でも Windows でしか使用できないソフトでの授業でした。Polimi の授業は Mac ユーザーには少し辛い授業が多いです。1回目の授業の課題は他の3Dモデリングソフトでも参加できる授業だったのですが、これからの授業が少し不安です。教授に相談したところ、Mac でも大丈夫だよ、授業についてこれるよと言われたのですが、なんせイタリアなのであまり信用できません。

・ USER AND SOCIAL INNOVATION 火曜日 14:15~18:15

このクラスでは人々や社会の動向をイノベーションが発生したポイントに焦点を当てて探っていく授業になります。初回の授業では、教授が定めたいくつかの観点から今までに起こったイノベーションの事例を紹介していく授業でした。これからどのように授業を進めていくかという具体的なことは次週の授業で教えてくれるらしく、まだどういった授業展開になっていくかはわかりません。しかし、初回の授業で紹介してもらったデザインの事例が興味深いものが多かったため、これからの授業が楽しみです。

・ LEADERSHIP & INNOVATION (聴講) 月曜日 15:15~19:15 & 火曜日 10:15~14:15

前述した通り、直前に授業の時間割と教授が変更となり、聴講という形を取らざるを得なくなった授業です。履修登録をした際はこの授業はロベルト・ヴェルガンティ教授が担当するはずだったのですが、授業に顔を出すと女性の教授が教壇に立っていました。初回の授業はちゃんと出たのですが、次週からは講義を聞きにいくだけで、グループワークなどは迷惑をかけてしまうので参加しない方針で行こうと思っています。また、もしかすると、同じ時間帯にヴェルディ教授が他のクラスで講義をしているので、次週はそのクラスを探して聴講できるか聞いてみようかと思っています。

この LEADERSHIP & INNOVATION という授業は第1 Semesterで履修していた BUSINESS INNOVATION と共通している部分が多く、興味深いです。今までのイノベーションがどのように起こってきたのか、時代を先導するリーダーはどういった人が多く、周りと違ってどういった考え方をしているのかななどを勉強していくことになります。



授業の様子 (ここまで多くの学生が受講している授業は初めて)

2、生活の状況

今イタリアは記録的大寒波に見舞われています。今週はまた雪が降り、街中は雪が積もり、凍っている箇所もいくつかあります。ミラノよりも南の方に位置するローマやナポリでも雪が積もり、イタリア人の友達曰く、今まで生きてきてここまで雪が降ったのは初めてと言っていました。運が良いのか悪いのか、イタリア人にとってもとても珍しい現象が発生した年に、留学してしまいました。



雪の積もった Bovisa Campus

そして、先日ついにイタリアの滞在許可証が手に入りました。これで合法的に海外を旅行することができます。滞在許可証を申請したのが去年の8月末で、約半年かかって手に入れることができました。これでやっと、イタリアに滞在することが認められました。この申請をする際に警察署に行くのですが、イタリアの警察官はとても適当で日本の警察官とは比べ物にならないほど仕事が遅く、信頼に欠けます。最近はイタリア人の友達もたくさんできて、イタリアの人々が大好きになってきたのですが、もう二度とイタリアの警察官にはお世話になりたくないです。

3月初めに宿を移りました。次の宿もシェアアパートで海外の人たち4人と一緒に住みます。英語の勉強にもなり、家賃も節約できるのでシェアアパートを選んだのですが、それでも日本と比べると家賃は高いです。少し高いところだと日本の家賃の2倍します。個人の部屋はとても広く居心地が良いのですが、宿にいくつか問題があります。シャワーは温水が続けて10分しか出なく、一回使うと45分間温水が出るまで待たないといけません。また、ヒーターのパワーが弱く、記録的大寒波真っ只中のイタリアでは部屋があまり温まりません。イタリアでは小さいことを挙げるときりがないので、あまり気にせず生きています。イタリア人も細かいことはあまり気にせず受け入れてしまいます。そんな環境で過ごしているので、日本を出た頃よりは少し強くなっている気がします。



新しい宿の部屋

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/3/01～2018/3/31)

1、勉学の状況

第2セメスターの授業が始まってから1ヶ月が経ちました。第1セメスターの初期の頃と比べると英語も聞き取れるようになり、授業が終わったら Polimi の図書館で作業するという習慣も身につけて来ました。でも、英語に関してはやはり周りのヨーロッパの友達と比べると劣っているなと自分では感じてしまうのですが、そんなことないよと友達に褒めてもらえることも増えたので残りの期間でもっと英語が上達できるよう頑張ります。

・ DESIGN DEVELOPMENT STUDIO 2 月曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

この授業では、私たちのグループは VR・AR を用いたフェンシングのトレーニング器具を考えているのですが、授業の進め方が日本で習ってきた進め方とはやはり全然違って戸惑っています。この授業では、コンセプトやアイデアを考えるまでの過程を教授たちが教えてくれた方法に従って進めなければならない、それが出せるアイデアの幅を狭めてしまっているような感じがして、自分には少しやりづらいです。第1セメスターの時も感じたのですが、Polimi の教授陣はアイデアやコンセプトの面白さよりも、教授が出した課題や方法に忠実に取り組んでいる人を評価するという感じで、その進め方が千葉大学とは違うので窮屈に感じてしまいます。グループワークでは、フェンシングの現状をリサーチするためにミラノにあるフェンシング教室をいくつか直接訪問してインタビューをしました。ここでもイタリア人の優しさに触れることができました。電話で予約せずに直接訪問したフェンシング教室もあったのですが、スタッフの人は快く歓迎してくれ、フェンシングを実際に体験させてもらうこともできました。直接足を運んでリサーチを行うことで、自分たちの提案に説得力を持たせることができるのだなと、改めてリサーチの大切さに気付かされました。

午後は Windows のパソコンでしか使用できない Autodesk の Inventor を使った授業なのですが、自分は Mac しか持ってきていません。でも、自分は 3D モデルを作成する時に Autodesk の Fusion360 というソフトをよく使っているの、なんとかそのソフトを使って置いていかれないように必死に授業に食らいついています。最近こっちで授業を受けていて感じたのですが、別に完璧に英語が理解できなくても、授業で使うソフトをインストールできなくても、最後まで諦めずに自分なりに打開策を考えればついていけるのだなと感じました。

・ USER AND SOCIAL INNOVATION 火曜日 14:15~18:15

このクラスは2回のグループワークと最後のテストで評価が決まります。その1回目のグループワークは四月に行われるミラノサローネに向けたリサーチワークになります。まだ、このグ

ルーブワークは動き始めたばかりなので進歩はあまりありません。授業ではそのリサーチの方法やイノベーションの事例を紹介してくれます。自分は特にその教授が紹介してくれるデザイン事例がとても面白く勉強になっています。ヨーロッパに留学した一つの理由が、デザインの事例で面白いもの（人の心を動かすデザイン）がヨーロッパに多くあるからだったので、その事例をたくさん紹介してくれるこの授業では吸収できるものが多く、毎回授業を楽しんで聞いています。

・ LEADERSHIP & INNOVATION（聴講） 月曜日 15:15~19:15 & 火曜日 10:15~14:15

先日このクラスを受講している生徒宛に、ロベルト・ヴェルガンティ教授が次回の授業を担当するというメールが来ました。待ちに待った彼の授業が受けられるということでテンションが上がりました。実際にその授業当日にクラスに足を運ぶと Polimi で一番大きな教室にもかかわらず生徒が溢れかえっていました。席が足りずに立ち見で授業を受ける生徒もたくさんいました。やはり、それほどに彼の授業は貴重なのだなと感じました。



授業の様子（奥の方に小さく写っているのがヴェルガンティ教授）

授業内容は主に彼の本からのものだったためほぼ知っている内容でしたが、その中でも本に載っていないようなことも話してくれたので、より知識を深めることができました。この授業では有名な教授が教壇に立つことがたまにあるようなので、そのお知らせメールを見逃さないようにして、できる限り聴講して吸収できるものは全て吸収して帰国したいなと考えています。

2、生活の状況

記録的大寒波のせいで先月まで寒い日が長い間続いたのですが、ようやくミラノも春らしい暖かい気候になって来ました。散歩日和のシーズンなので晴れた日は街に出て散歩するのがとてもきもち良いです。個人的にミラノの空気が好きで、空気が美味しいっていうわけではないのですが、すごく透明で不純物のない感じ？みたいで空気を吸い込むとスッキリします。

ミラノの都市交通はすごく安くて財布には優しいのですが、少し不便なところがあります。それは、スタッフがストライキという仕事放棄を不定期的に起こすことです。日本ではあり得ないことです。このストライキが起こると公共交通機関（電車・バス・地下鉄）が止まってしまいます。その間、ストライキをしたスタッフは何をしているかと思うと、外で仲間たちとコーヒー飲んでおしゃべりしているのです。いや、働けよと日本ならなると思うのですが、これが許されちゃうのがイタリアなのです。この適当な感じ、自分は嫌いではないのでイタリアらしいなあと思って楽しんでます。



ストライキが起きた時の電光掲示板（SOPPRESSO → 廃止）



仕事放棄して仲間たちと談笑するスタッフ



最近は気温が暖かくなってきたため、屋外で留学生たちとバスケをしています。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/4/01～2018/4/30)

1、勉学の状況

四月の後半にはミラノサローネがあり、Polimi の学生の何人かがミラノサローネで展示するらしく、その準備などで大学が賑わっていました。私が履修している授業でもミラノサローネを利用してリサーチを行うものがあり、この時期は大学も街中もミラノサローネ一色に染まっていました。サローネ期間中は大学の授業はお休みで、Polimi の学生諸君は街に出てデザインを学んできなさいという感じでした。

・ DESIGN DEVELOPMENT STUDIO 2 月曜日 9:15~13:00 / 14:15~18:00

四月の後半に中間発表があり、これまでの進捗を教授たちに向けてプレゼンしました。前回の報告書でも書いたのですが、この授業の教授陣はアイデアやコンセプトの面白さよりも、教授が出した課題や方法に忠実に取り組んでいる人を評価するという方針で、中間発表の評価もその評価方針で点数がつけられました。自分たちのグループは教授が示した通りに進めてきたので評価の点数は高い方でした。しかし、この授業方針に首をかしげる生徒も多く、自分もこの授業で培ったものが将来社会に出て活かせるのかどうか疑問に思っています。しかし、教授から受け取ったものを疑問を持たずに素直に全て受け止めていた留学初期の頃の自分からすると、こうやって自分で考えて色々疑問を持てるようになったのは成長した証なのではないかとも感じるようになりました。特にヨーロッパの友達たちは何も考えずに周りに流されるのではなく、自分たちでしっかり考えて自分に素直に行動する人が多く、そんな彼らからいい影響を与えてもらった気がしています。

午後は、VR グラスに付属するフレグランスファクトリーを作成するプロジェクトが始まりました。このプロジェクトはグループワークで前半の授業のグループと同じメンバーでの授業になります。このフレグランスファクトリーとは、VR グラスに香りの出る機械を作成して取り付けることで、VR を取り付けながら匂いを変えることができるようになり、より VR 世界に没入することができるようになるというものです。Unity という 3D モデル動画作成ソフト、Fusion360、Arduino を使ってこのフレグランスファクトリーを作成していきます。その作成した 3D モデルを教授に提出すると、3D プリンターで出力してくれ、最終的には実際に使うことができます。

・ USER AND SOCIAL INNOVATION 火曜日 14:15~18:15

この授業では、グループでミラノサローネを題材としたリサーチプロジェクトを行なっています。各グループリサーチするテーマを決めてミラノサローネを通してリサーチを進めていき、そこで得られた情報から気づきを見つけ出し、その気づきが社会にどうやってイノベーションを起

こしていくのかを考察していくプロジェクトになっています。グループメンバーは 6 人いるのですが、3人しか仕事をしなく他の3人は連絡もまともにとってくれなく、頭を悩ませています。今の段階では自分が主導で動いていて、進捗報告の際は教授からのレビューは良かったのでこの調子で進めていき、他の働かない 3 人に対しての対処も考えていきたいです。

・ LEADERSHIP & INNOVATION (聴講) 月曜日 15:15~19:15 & 火曜日 10:15~14:15

四月に入ってから本格的にグループワークが始まり、座学の授業がめっきりなくなってしまったため、今月はほとんど聴講できずに終わってしまいました。来月からもこのグループワークが続く予定なのですが、座学の授業が開かれ次第足を運びたいと思います。

2、生活の状況

四月に入るとミラノは一層街中が賑やかになってきました。四月後半にミラノサローネが開かれるからです。ミラノサローネが始まる前からミラノは展示の準備やプロモーションで大忙しでした。自分も、日本からミラノサローネに展示をしに来た若手デザイナーさんのお手伝いをさせてもらったため、展示の準備や搬入作業で大忙しでした。大学でできたイタリア人の友達とトルコ人の友達を誘ってサローネ期間中は日本から来た若手デザイナーさんの展示スペースで翻訳のお手伝いをしていました。普通、ミラノサローネはいろんなデザイナーの作品や展示を見るだけなのですが、自分は実際にミラノサローネの出展者側として働かしてもらうことができ、とても貴重な経験ができてすごく楽しかったです。出展者側に立つとミラノサローネの底知れぬパワーを肌で感じ取ることができ、日本からの莫大な作品輸送費やサローネでの展示費を払ってまでもここで勝負をかけて展示をする意味というものを感じ取ることができた気がしました。自分がお手伝いさせてもらった場所は若手エリアといい、世界中から若手デザイナーが自分の作品を展示しに集まってくる場所で、その独創性や奇抜性が見ていて面白く、良い刺激になりました。



ミラノサローネのメイン会場のエントランス



ミラノサローネの展示準備の作業風景



NENDO はサローネの中でも群を抜いて人気で、大行列でした。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/5/01～2018/5/31)

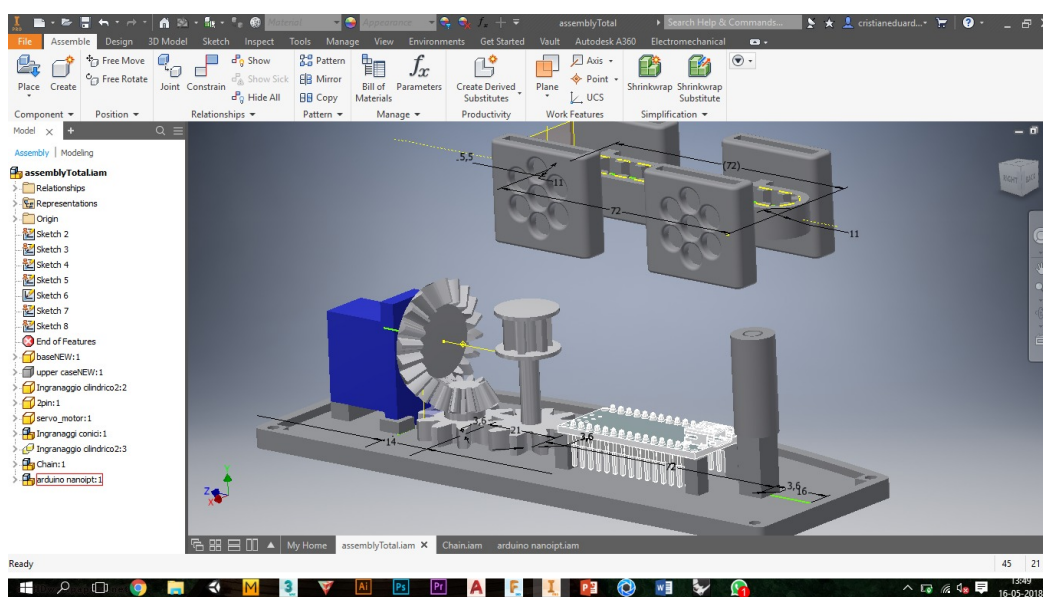
1、勉学の状況

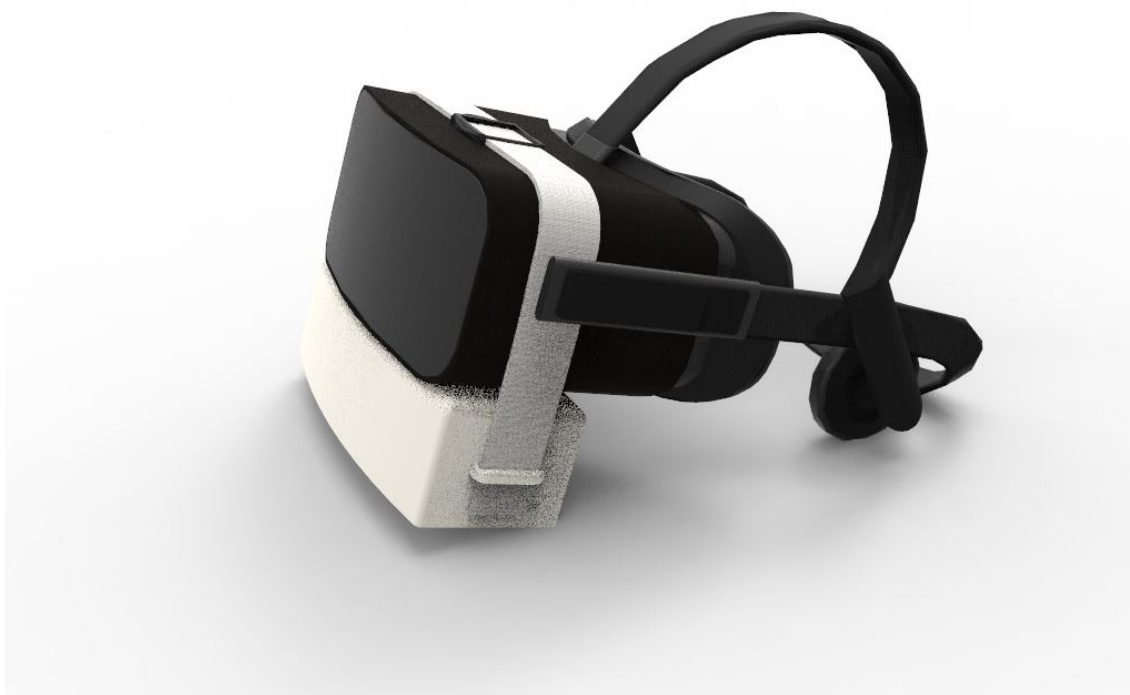
五月に入ると第二セメスターの授業も終わりに近づいていくのでみんなテストや最終プレゼンに向かって動き始めます。普段はそんなに混んでいない図書館も、この時期になると多くの学生が勉強していて、空いている席を見つけるのが難しくなってきます。Polimi の授業は難しいものが多く、厳しい先生も多いのでみんな必死になって勉強しています。

・ DESIGN DEVELOPMENT STUDIO 2 月曜日 9:15～13:00 / 14:15～18:00

7月2日の最終プレゼンに向けて講義の数が少なくなり、その代わりにグループごとに教授からフィードバックをもらう時間が増えてきました。自分たちのグループは毎授業教授にしっかりと進捗を見せているので結構順調に進んでいます。プロダクトのコンセプトや使い方、機能などはだいたい決まってきたので、今はプロダクトの形や、アプリのインターフェースなどを考える段階に入っています。最終プレゼンにはプロダクトの図面やプロトタイプも作成して持っていかなきゃいけないので、これから忙しくなりそうです。

午後のVRグラスに付属するフレグランスファクトリーを作成するプロジェクトは先日終わりました。実際にフレグランスファクトリーの3Dモデルを作成して、3Dプリンターで出力して組み立てました。作成したフレグランスファクトリーはVRグラスに取り付けるため、大きさはVRグラスほどで、香りが出るケースが4つ内蔵されています。その香りが出る4つのケースをチェーンに取り付けて、そのチェーンをArduinoで回転させることで香りが増える構造になっています。





・ USER AND SOCIAL INNOVATION 火曜日 14:15~18:15

先日、グループで行うミラノサローネを題材としたリサーチプロジェクトが終了しました。この授業は2つプロジェクトがあるのですが、これはその1つでした。自分はミラノサローネで出展者側として働いていたので、それもあってこのプロジェクトのリーダー的ポジションで頑張っていました。そして、このプロジェクトの最終プレゼンでは教授たちからプレゼンやリサーチの成果を絶賛され高評価をもらうことができました。自分が主に引っ張って進めてきたプロジェクトでもあったためとても嬉しく、頑張った甲斐があったなと感じました。しかし、息つく間もなく次のプロジェクトが始まりました。2つ目のプロジェクトはターゲットとするペルソナを決めてリサーチを進めていくプロジェクトでした。教授がペルソナのリストを最初に生徒に配って、そこから自分たちがリサーチしてみたいペルソナを選択してグループで作業をしていきました。このプロジェクトは先週最終プレゼンがあり、そこでもいい評価をもらうことができました。来週が最後の授業で、この授業に関して質問を受け付ける時間を設けてくれるみたいなので、質問したいことをまとめて持っていきたいと思っています。この授業の講義は個人的にはとても面白く、ためになったので履修してよかったなと感じています。

2、生活の状況

五月に入るとミラノも暑くなってきました。街を歩く人は半袖短パンも増えてきて、留学初期の頃のイメージがフラッシュバックされます。初期の頃はおどおどしながらミラノの街を歩いていましたが、今はもう我が物顔でミラノの街を歩いています。先日、初ヴェネチアに行ってきました。天気は快晴で風も心地よく、ゆったりとした街で気分転換できました。街中は車や自転車などの乗り物に乗るのが禁止されていて、移動は gondola か船だけでした。船での移動はまるでクルージングをしているみたいで贅沢な気分になりました。運がいいことに gondola 漕ぎが海賊の歌を歌いながら gondola を漕いでいるのを見つけてテンションが上がりました。

